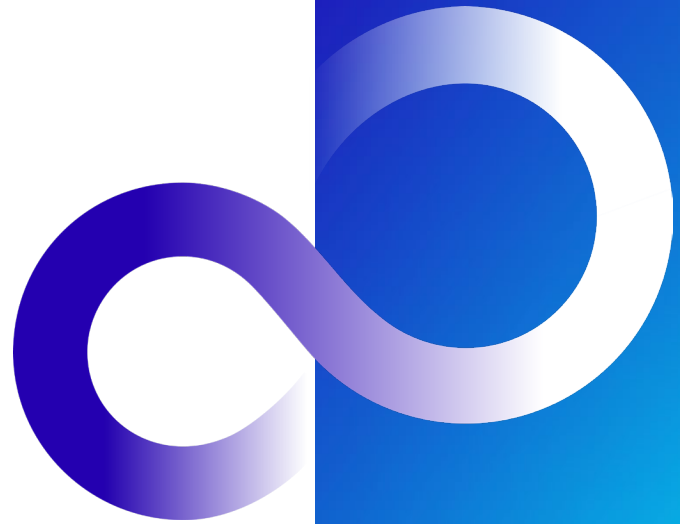


# Fujitsu Software Systemwalker Desktop Patrol V16 ご紹介

2025年2月

富士通株式会社



## ■製品ご紹介

- Systemwalker Desktop Patrol とは

## ■ICT資産管理

- ICT資産管理の流れ
- ICT資産の一元管理
- ライセンス管理
- 機器の棚卸／廃棄

## ■セキュリティ統制

- セキュリティ統制状況の把握の流れ
- セキュリティ統制状況の把握と対処
- リモート操作

## ■レポート機能

- レポート出力

## ■製品情報

- 事例（参考）
- 登録商標

# 製品ご紹介

## ■ Systemwalker Desktop Patrolとは

## ■ ICT資産管理とセキュリティ統制の重要性

社内事業所でPCやプリンタ、USBメモリを活用するシーンだけでなく、昨今では社外でのPC利用等、社内外にかかわらずICT資産の業務利用がますます広がっています。

セキュリティ上、機密情報を安全に管理するために、最新のセキュリティパッチの適用や廃棄PCのデータ削除は欠かせません。

機密情報を守る上で、手作業や担当者任せで管理してきたICT資産管理やセキュリティ統制は、ますます重要になります。

## ■ Systemwalker Desktop Patrolが解決できること！

### ICT資産管理

PC、プリンター、USBメモリなど、社内外で利用されているICT 資産を管理できます。

### セキュリティ統制

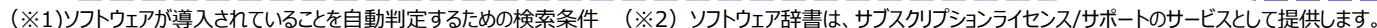
部門に適したセキュリティ設定をPCに自動的に適用(セキュリティパッチなど)し、また設定漏れなどの確認(パスワード設定チェック)ができます。

### レポート機能

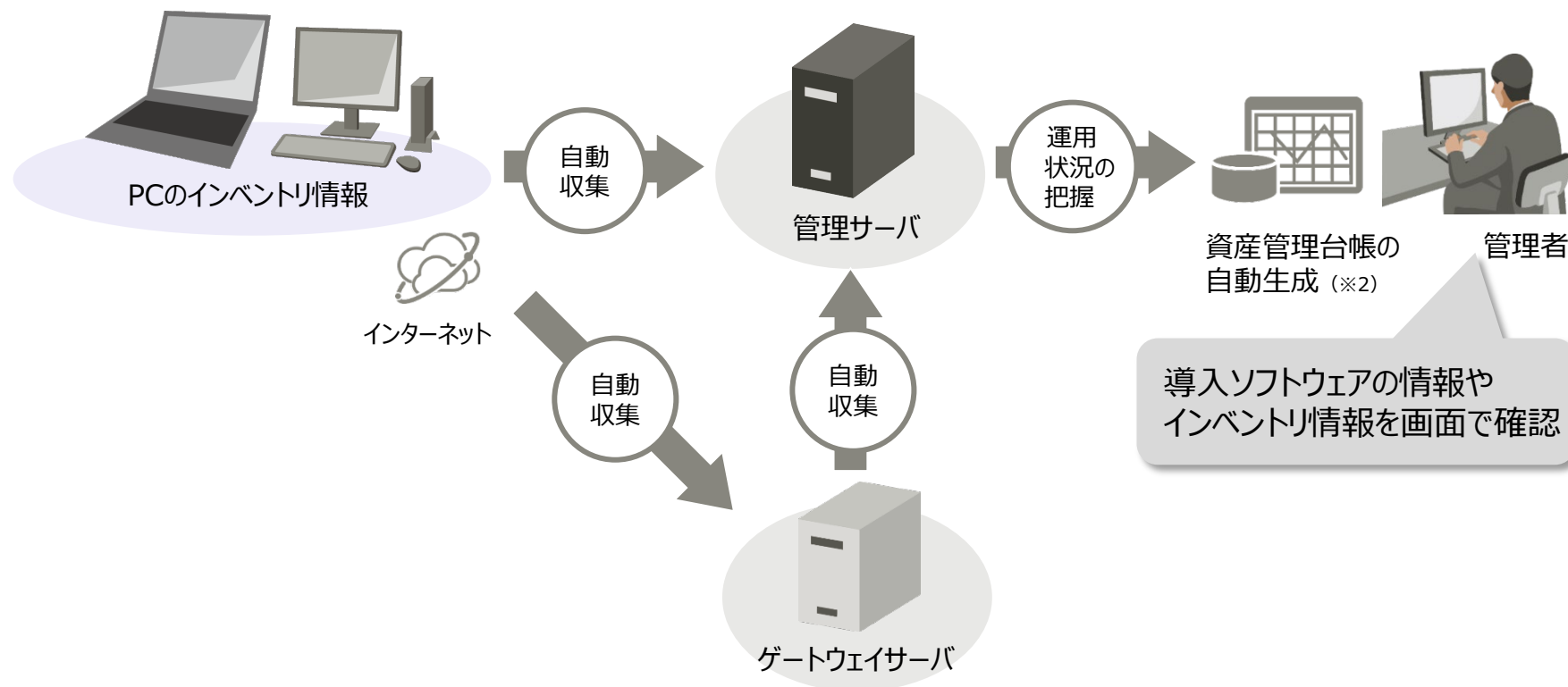
稼働している資産の状況や、リース／レンタル機器の契約数、ソフトウェアライセンスの使用状況などICT資産管理に関するレポートやセキュリティ監査レポートとして印刷やファイル出力できます。

# ICT資産管理

- ICT資産管理の流れ
- ICT資産の一元管理
- ライセンス管理
- 機器の棚卸／廃棄



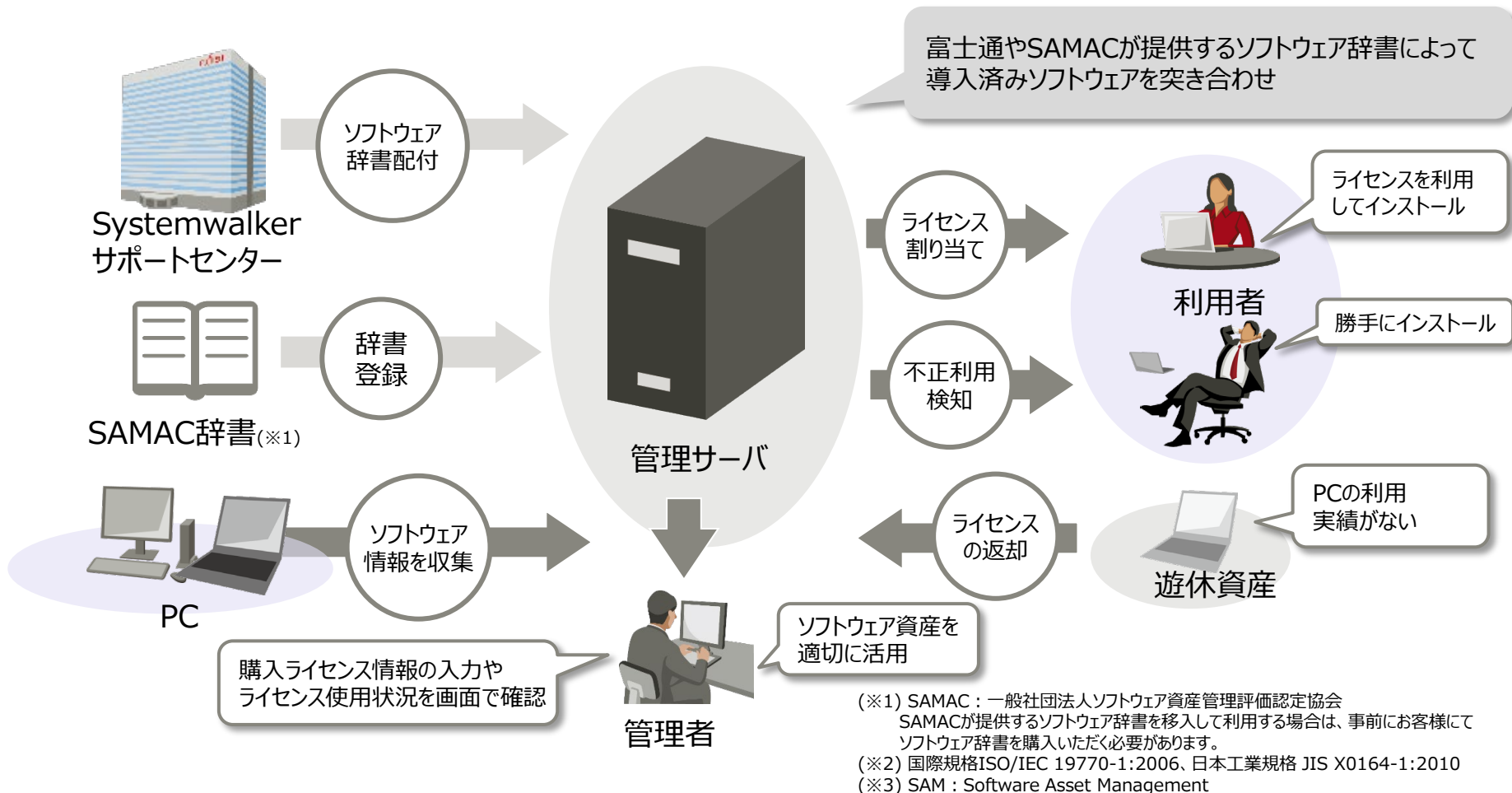
- PCのインベントリ情報-(\*1)を自動収集し、ICT資産を一元管理できます。
- 収集したICT資産情報を資産管理台帳として管理することにより、ICT資産の統制(運用見直しや投資)ができます。



(※1) ハードウェア情報、ソフトウェア情報、ウイルスパターン適用情報、セキュリティパッチ適用情報  
(※2) PC自動収集以外に、ICT機器の自動検知や管理者による手動登録ができます。

PCの資産情報を一元管理できます。

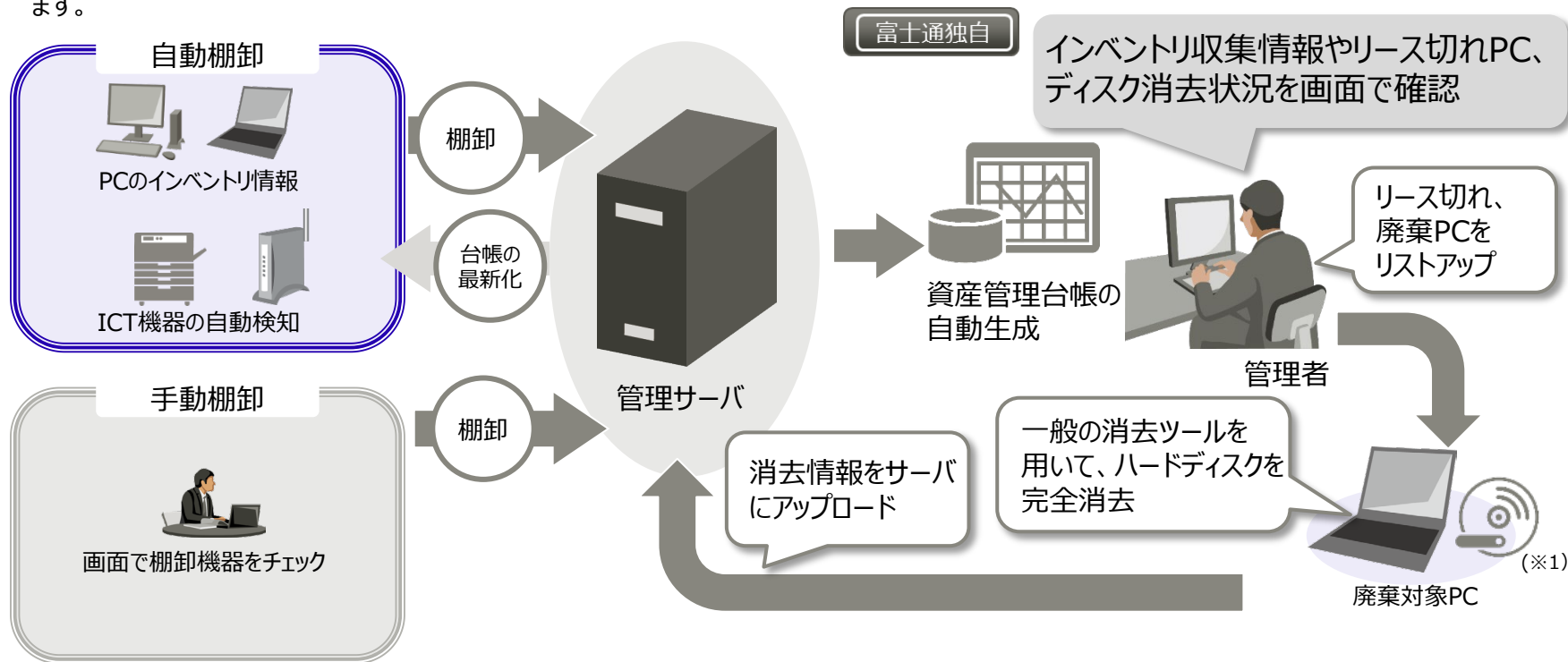
- 管理者は画面から、ライセンスの購入数、購入元、種別／形態、使用許諾、保管場所などを登録できます。
- 収集した導入済みソフトウェア情報と保有ライセンス数を突き合わせて、ライセンス使用状況を確認できます。



導入／運用などの各フェーズで、標準規格(※2)に準拠したソフトウェア資産管理(SAM(※3))を支援します。



- PC、プリンター、USBメモリなどのオフィス機器の棚卸ができます。
- PCのインベントリ情報の自動収集やICT機器の自動検知を契機として自動的に棚卸完了にすることで、棚卸を効率化できます。
- 収集したインベントリ情報からリース／レンタル切れのPC情報などを確認できます。
- リース／レンタル切れや廃棄対象のPCに対し、ハードディスクデータを消去(※1)します。  
その後、消去情報をサーバにアップロードすると当該PCのインベントリ情報を資産管理台帳から自動で削除し、割り当て済みライセンスを自動的に回収します。



(※1) PCベンダが提供するディスク消去ツールなどを使用してデータを消去します

定期的なICT資産の棚卸を負担をかけずに行い、  
不要PCのハードディスクデータを確実に消去し、情報漏えいを防止できます。

# セキュリティ統制

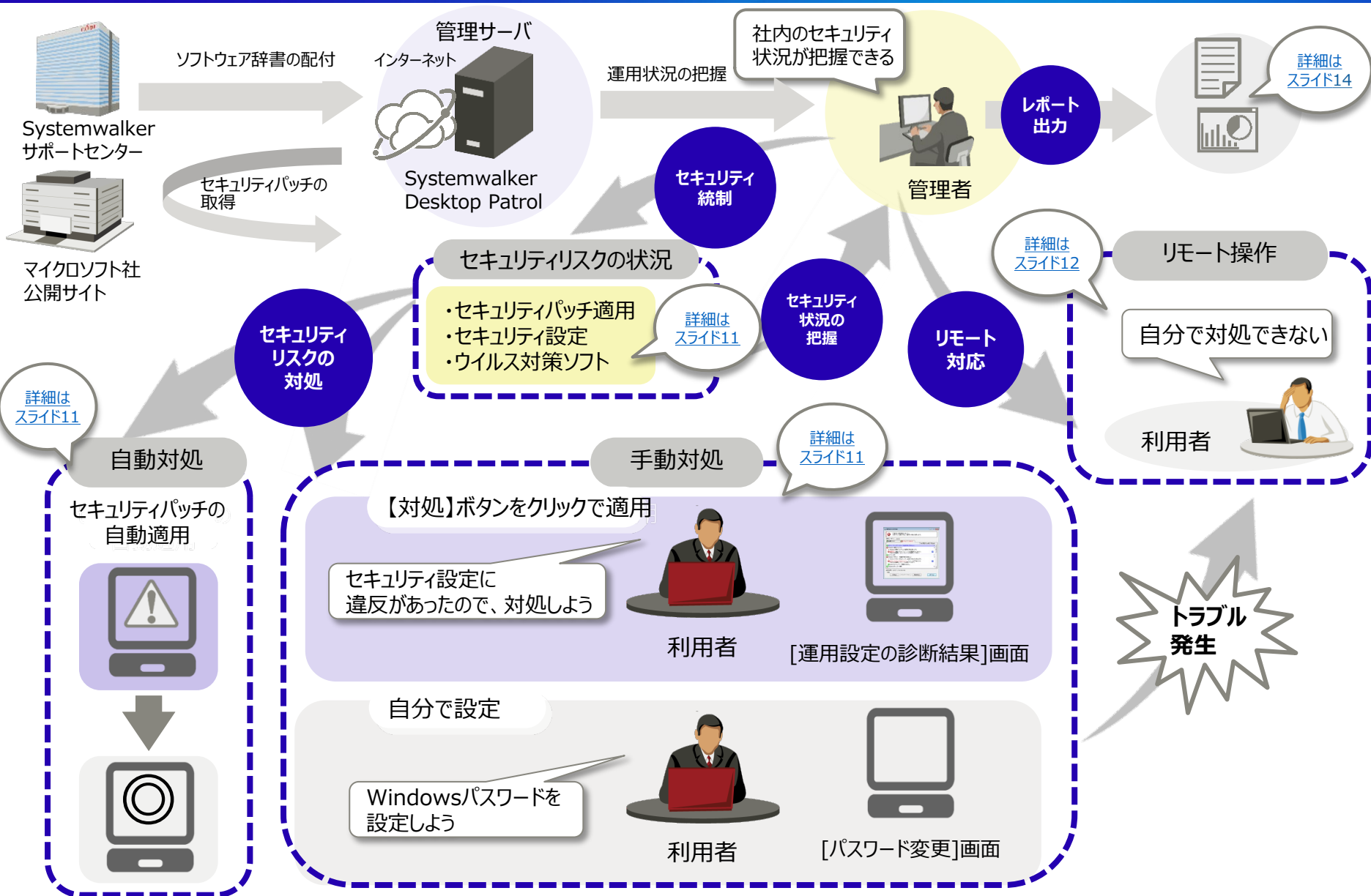
- セキュリティ統制状況の把握の流れ
- セキュリティ統制状況の把握と対処
- リモート操作

# セキュリティ統制状況の把握の流れ



セキュリティ統制

FUJITSU



# セキュリティ統制状況の把握と対処



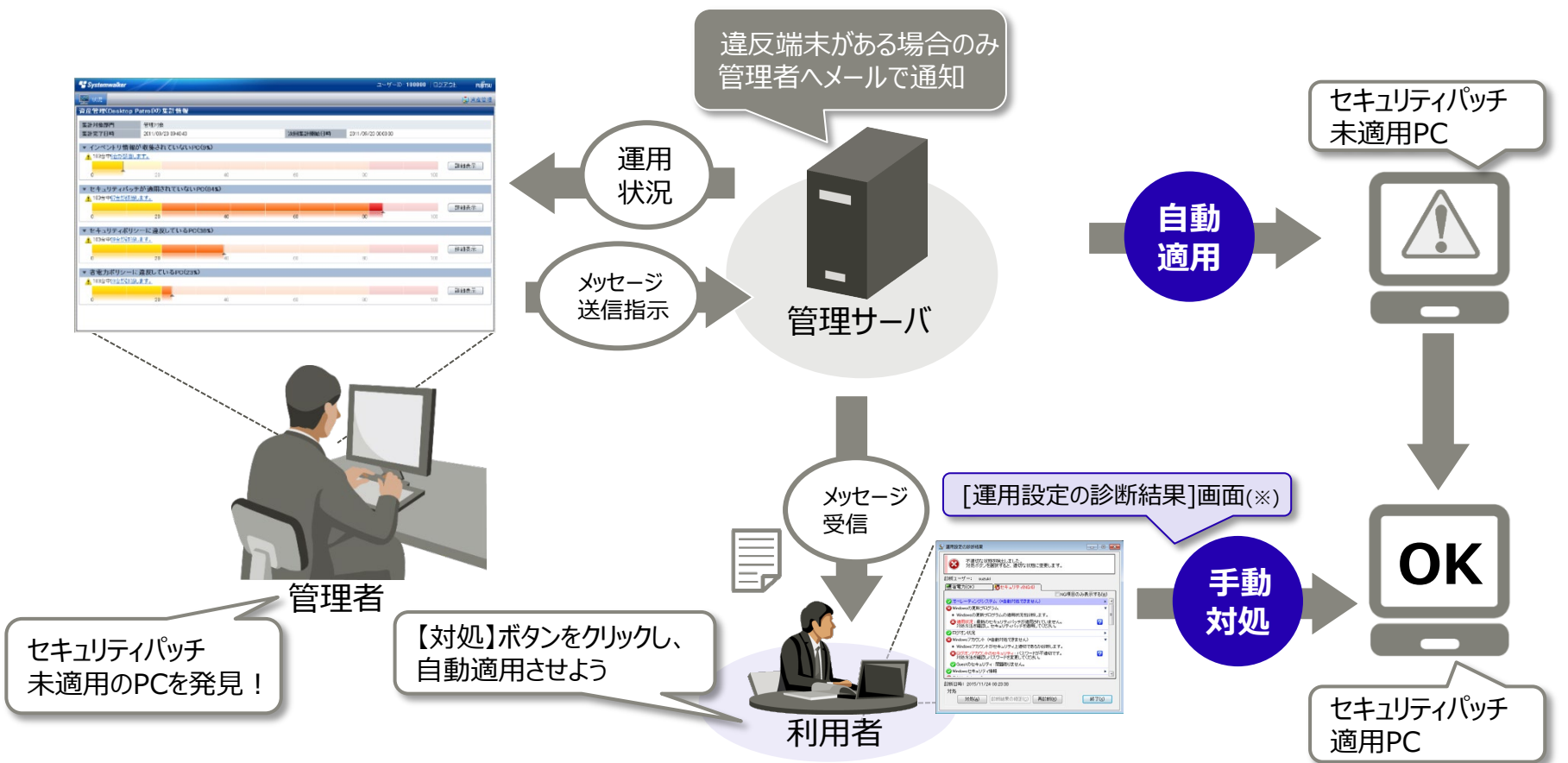
セキュリティ統制

FUJITSU

- 画面からセキュリティ上、問題のあるPCの台数、所属部署、問題点などを把握できます。
- 問題のあるPCに対して自動で対処、または、管理者が利用者に対処を促すメッセージを送信することができます。
- 利用者に対して[運用設定の診断結果]画面でセキュリティ違反項目を表示し、手動対処を促すこともできます。

富士通独自

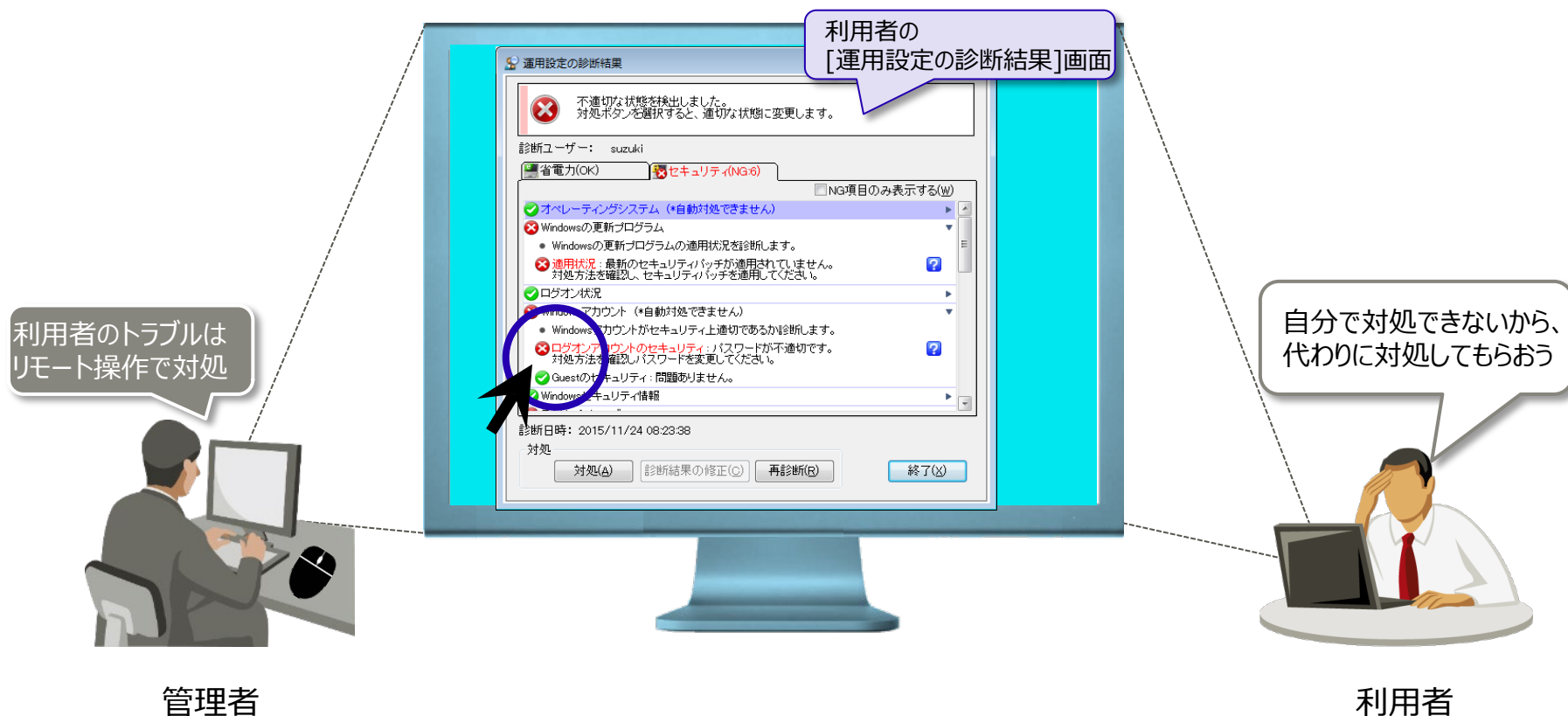
富士通独自



(※) 利用者PCに表示される画面です。セキュリティポリシーに関する項目の違反状況が表示されます。

PCの運用状況と問題点を一目で把握し、違反PCへ手早く対処(セキュリティパッチの自動適用など)できます。

- 利用者からの問合せや利用者不在PCのトラブル発生時に、管理者が利用者PCをリモート操作できます。



セキュリティポリシー違反やトラブル状況をリモート操作で確認し、現地へ行かずに対処できます。

# レポート機能

## ■ レポート出力

- レポート出力ツールにより、ICT資産の管理状況やライセンスの使用状況、セキュリティ監査の状況を把握できます。



## 出力可能レポート（全8種）

- 資産稼働状況一覧レポート
- 契約一覧レポート
- 棚卸状況レポート
- ライセンス使用状況レポート
- セキュリティ監査状況レポート
- 省電力量の設定状況レポート
- 消費電力量の監査レポート
- 複合機／プリンタの稼働状況レポート



定期的に評価／分析した結果を見える化し、ポリシーの見直しができます。

# 製品情報

■ 事例（参考）

■ 登録商標



## ■ ファイルをタブレットへ配信

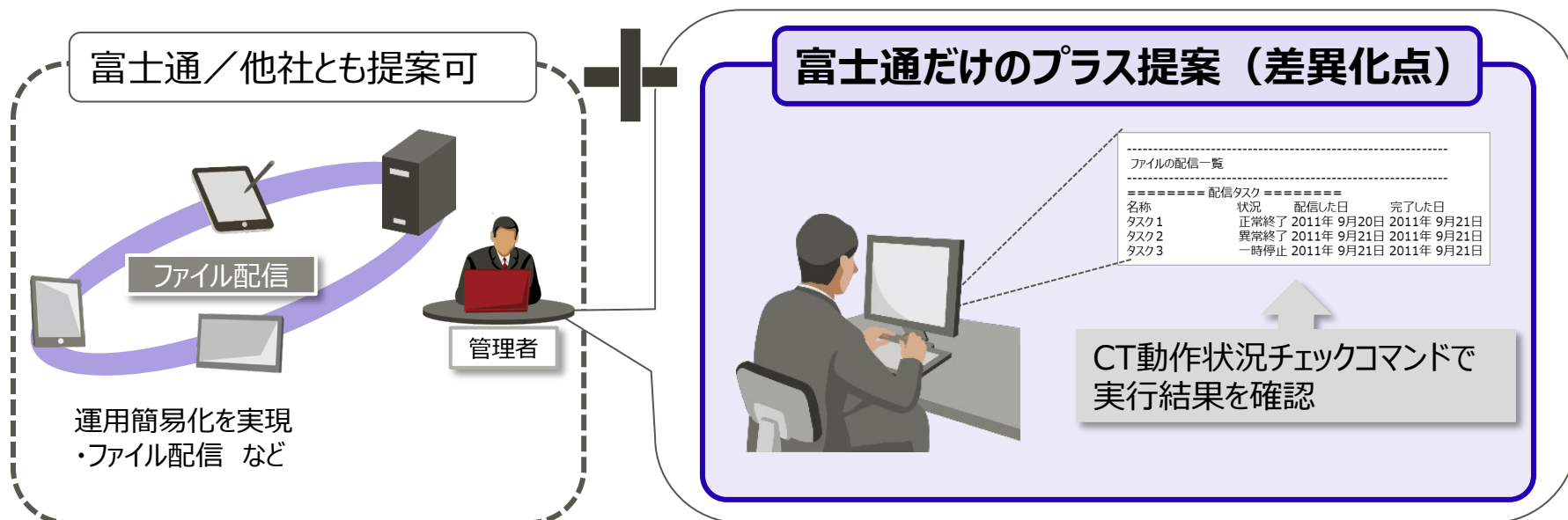
要件：タブレット(Windows)を導入し、ガソリンスタンド店でクレジットカードや車検の加入者募集を実施する。  
説明要員には、キャンペーン情報なども盛り込んで説明させるため、常に最新の資料を使わせたい。

### 課題

- 説明資料はサーバから常に最新の資料を配付し、参照させたい。

### 解決

- Systemwalker Desktop Patrolのファイル配信機能で、最新の説明資料を配付。
- ファイル配信の結果は、logcheck.exe(CT動作状況チェック)コマンドおよび、logcheckcs.exe (CS上のCT動作状況チェック)コマンドを実行して確認。



## ■ 国内／海外拠点で同一のポリシーによりICT資産管理

要件：国内と同じセキュリティポリシーを海外に展開して、セキュリティパッチ適用の状況把握や資産を集中管理したい。

### 課題

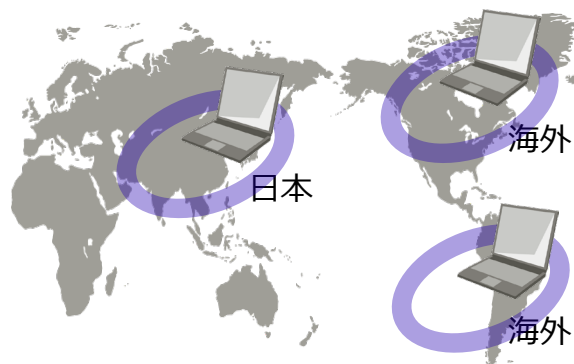
- 国内と海外拠点5か国(タイ、ベトナム、中国、シンガポール、マレーシア)とでは、別の管理者が運用しているが、海外拠点は国内ほどセキュリティポリシーが守られていない。
- 国内から一括で、海外拠点にセキュリティポリシーを展開し、全社統一のセキュリティレベルを維持したい。

### 解決

- Systemwalker Desktop Patrolは、日本語OS以外でもクライアントの動作を保証しているため、海外拠点のPCを国内から集中管理できる(※)。
- 国内／海外一括で同一レベルのセキュリティポリシー運用が可能。

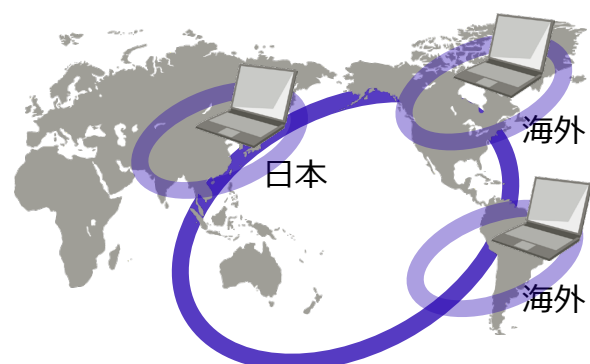
#### 他社の提案可能範囲

国内と海外で別の管理者／別の製品で運用



#### 富士通の提案

国内と海外を一括管理／同一レベルの運用



(注)海外拠点で本商品のご利用に際しては、詳細を弊社営業までご連絡ください。

- Microsoft、Windows、およびWindows Serverまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

**Thank you**

